

# NCPタイムズ

Nihon CellonPack Times

発行所  
日本セロンパック株式会社  
大阪本社  
〒540-0022  
大阪市中央区糸屋町1-4-7  
TEL.06-6941-8851  
FAX.06-6943-8855

NCP  
**創刊号**  
2010.11.1発行  
Times

## 創刊の挨拶

代表取締役社長 田中 哲

この度、情報誌『NCPタイムズ』の創刊にあたり、御挨拶を申し上げます。  
弊社は昭和8年の創業より堅実な成長を遂げ、包装専門メーカーとして、常に業界をリードしてまいりました。特にフィルムパッケージでは、積極的に新しい素材や加工技術を取り入れて、高い評価と信頼を頂いてまいりました。お客様へ更に満足して頂くためのひとつといたしまして、『NCPタイムズ』の発行に至りました。年に4回、食品包装業界の最新情報を御提供できる誌面作りを目指してまいります。この『NCPタイムズ』が情報収集のための一助になれば幸いです。今後とも皆様の御期待に沿いますよう、社員一同、一丸となって頑張っております。何卒、格別の御支援、お引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 経営理念

### 環境に配慮した“未来の包装”を追究し社会に貢献します

#### 理念解説

- 私たちは**環境への配慮**を重視することで、絶えず創造変化する柔軟で豊かな自然の力に学び、社員一人ひとりが**自浄力**を高め、**誠実に正しい仕事**を遂行し、より良い素材、技術による**環境にやさしく、しなやかな“未来の包装”**を追究します。
- 加えて社員が、人や環境にやさしく、日々新たに**ワクワクする仕事**に打ち込める、明るい**職場環境**を構築し、**お客さまに感動**いただけるチームづくりに尽力することで、社会に貢献します。

## 行動指針

### わたしたちの“お約束5カ条”

1. 私たちは、常に**お客さまの立場**に立って考え、適切な製品とサービスをご提供します。
2. 私たちは、**法令**および**社会規範**を遵守し、**誠実、公正**に業務を遂行します。
3. 私たちは、**お客さまの「声」**の一つひとつを大切に、速やかに対応するとともに、**業務の改善**に活かします。
4. 私たちは、**地域・社会の発展**に貢献するとともに、**環境にやさしい企業活動**を推進します。
5. 私たちは、相互に**人格・個性を尊重**し、**明るく働きやすい職場環境**の維持・向上に努めます。

## 日本セロンパックが掲げる経営理念・行動指針に基づいた商品をご提供!

ECOLOGY  
HUMAN

### 環境負荷低減のために…

弊社では環境を考えた包材をご提案しております。

### 成分解性フィルム サンクリーン®フィルム

#### 成分解性フィルムとは…

石油からできており、紫外線で1次分解、有機体で2次分解されます。



COSTDOWN  
COSTDOWN

### スタンドパック、 コストダウンできます!!

現在使われているスタンドパックも、GSパウチ機で作成することにより、お安くできます。さらに底部のシール強度の心配がない、底部への印刷が可能など、いいこと尽くめです。ぜひ一度、ご検討ください。



得意先お客様の  
取り組みの一例

## 私たちはこれで成功 しました!

### 中部地方\*和菓子メーカー

材質構成OPP//CPPの個包装資材をヒートシールタイプOPPに変更。コスト削減につながりました。



### 近畿地方\*製茶販売会社

お徳感を出すために、10g×50パック入り表現を54パック入り×8.5gと袋数を強調。また、麦茶の色の出をよくするために、焙煎を強くしたことにより、売上のアップにつながりました。



### 東海地方\*レトルト製造会社

材質構成PET//AL//NY//レトCPPの4層構成から、ハイブリットNY//AL//レトCPPの3層へ変更。コスト削減につながりました。



## フィルム動向一覧ニュース

### 東レ子会社、包装用フィルム値上げ!

東レ子会社の東レフィルム加工(東京・中央)は20日、包装材料に使うポリエステルやポリプロピレンのフィルムと、アルミなどを蒸着した加工製品を値上げすると発表した。上げ幅は3~10%で、来月1日出荷分からの実現を目指す。23日に需要家との交渉に入る。蒸着用のポリエステルフィルムで1キロ30円、無延伸ポリプロピレンフィルムで20円値上げする。蒸着ポリエステルフィルムの価格は厚さ20μで1連(500平方m)当たり250円の引き上げとなる。液晶パネル向けの需要拡大でフィルムの需給が引き締まったため、採算の改善を狙う。ポリエステルフィルムは、光を広げる拡散フィルムや輝度を上げる反射フィルムなど液晶向けが急拡大し、品薄となっている。ポリプロピレンフィルムも液晶画面の保護用などの需要が好調という。

2010年8月20日 日本経済新聞

## 2010年上期ヒット商品番付

(日経MJ記事より)

# 東 西

該当なし

横網

3D



大関(東)スマートフォン



横網(西)3D

スマートフォン

大関

竜馬



関脇(東)ipad

ipad

関脇

LED電球

東京スカイツリー

小結

ラー油

小結(東)東京スカイツリー



- ・コロブラ
- ・山スカート
- ・デパクロ
- ・カット野菜
- ・250円牛丼
- ・坂本冬美
- ・薄型テレビ
- ・手あれ予防洗剤
- ・220ボルト家電
- ・1Q84 BOOKS
- ・ハイパーヨーヨー
- ・鎌倉シャツ
- ・低価格均一居酒屋
- ・お試しかつ!

【殊勲賞】・せんとくん・高齢者向け住宅

【技能賞】・ダダ漏れ中継・加齢臭抑制下着「MPX」

前頭

- ・もしドラ
- ・ミルミル
- ・ストライド
- ・エコ内窓
- ・クラブ
- ・AKB48
- ・CR-Z
- ・150円ロールケーキ
- ・カラーゴルフボール
- ・ビッグアメリカシリーズ(マクドナルド)
- ・ポケットドルツ
- ・10分フィットネス
- ・トイレの神様
- ・オルニチン

【話題賞】・岡本真夜

【残念賞】・バンクーパー五輪



関脇(西)LED電球



小結(西)ラー油

## 編集部からの 直言直筆

創刊にあたり、手探り状態でのスタートとなり、紙面の内容等、まだ煮詰めていけていない部分も多々あるかとは思いますが、ご容赦お願い申し上げます。最近、品薄、販売休止が相次ぐというニュースを目にすることが多くなったが、あまりにも多すぎるという印象が否めない。なぜかという疑問に3つほど理由が浮かび上がる。一つ目は、国内消費のシュリンク化により企業が設備の増強に慎重になっていること。特に中小企業に多く見られる。以前ならば、設備投資をしてでも、増産体制を整えたと思うが、果たしてこの経済状況の中、投資をしてそれに見合うリターンが得られるかを企業はシビアに見極めている。ブームが一過性のものならば、販売機会をロスしてもいたし方無いという考えが見え隠れする。

二つ目は、各メディアがこぞって販売休止を取り上げるようになったことも理由としてあるように思える。確かに、企業努力によって商品が売れ、品切れを起こしているのは事実であろう。しかし、販売休止のニュースを各メディアが報じることによる、宣伝効果は計り知れないものがある。企業は広告費をかけることなく、メディアが勝手に商品を宣伝してくれる構図が成り立つのである。三つ目は、消費者心理である。人というのは、商品が無いと欲しがり、逆に商品があるといつでも変えるという安心感から購買を見送る。飢餓感をうまく利用しているように思える。オイルショック時のトイレペーパーとは状況は違うとは思いますが、人の心理というのは、40年近く経た今でも変わらないというのは、おかしなものである。